

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野本町小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> さいたま市学習状況調査において国語の「言葉の使い方や特徴」や算数の「数と計算」などの基礎的な内容について、やや課題が見られた。 <指導上の課題> 令和4年度までの算数科における読解力向上の研修成果や令和5年度からの国語科における読解力向上の研修成果を協同校で共有しながら、国語力をより高める指導や基礎的な計算力・数学的思考を身に付けさせる指導につなげていく必要がある。	⇒ 研修成果である「本町小算数科スタンダード」「本町小国語スタンダード」を活用し、全校共通理解のもと学習指導を進めていく【毎月実施】 授業を増やす取組として、デジタルツール(Teams)の課題機能を活用したNIE活動や「コト」(等)を活用する【月2回程度の実施】 ICTの活用等によって児童一人ひとりの学習履歴を把握し、適切な指導ができるよう、授業改善を進めていく【毎月実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> さいたま市学習状況調査において国語の「書くこと」の内容について、やや課題が見られた。 <指導上の課題> 本校の研究課題である国語力の向上をさらに推進することで、「書くこと」の育成を図る指導を行っていく必要がある。カリキュラムマネジメントを行い、教科横断的に書くこととより算数の読み取りにつなげたり、児童が主体的に取り組める手立てを講じたりしながら、さらに授業改善を進めていく必要がある。	⇒ 授業改善のために各学年のカリキュラムマネジメント実施状況の確認を行う【月1回の実施】 読解力の向上を目指した取組としてTeamsの課題機能を活用しながらNIEの取組を行う【月2回程度の実施】 初見の文章の読解力向上を図るため、読解ワークを使った取組を行う【月2回程度の実施】 文学的な文章や説明的な文章を教材とした研究授業の実践と共有を行う【年2回(7月、12月)実施】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)